

(1) 平成 1 6 年 7 月 新 潟 ・ 福 島 豪 雨

気象・降雨概要

7月12日夜から13日にかけて、日本海から東北南部に停滞する梅雨前線の活動が活発化し、新潟・福島の両県で豪雨となった。特に13日朝から昼過ぎにかけて、新潟県長岡地域・三条地域を中心に非常に激しい雨が降り、13日の日降水量は、新潟県栃尾市で421mmに達するなど、長岡・三条地域の一带でこれまでの最大日降水量の記録を上回った。

- ・ 栃尾観測所（气象台）における7月の平均月降水量は243mmのため、1日で2ヶ月分の降水量に近い雨が降った。
- ・ 信濃川下流で見ると、帝石橋地点における流域平均での2日雨量は約270mmに達した。この値は昭和53年6月に記録した335mm/2日に次ぐ戦後2番目の大雨であった。

被害の状況



【はん濫水の勢いにより押し流された車
（新潟県三条市）】



【複数箇所同時発生した地すべり
（新潟県三島町）】



【破堤により流失した家屋
（新潟県中之島町）】



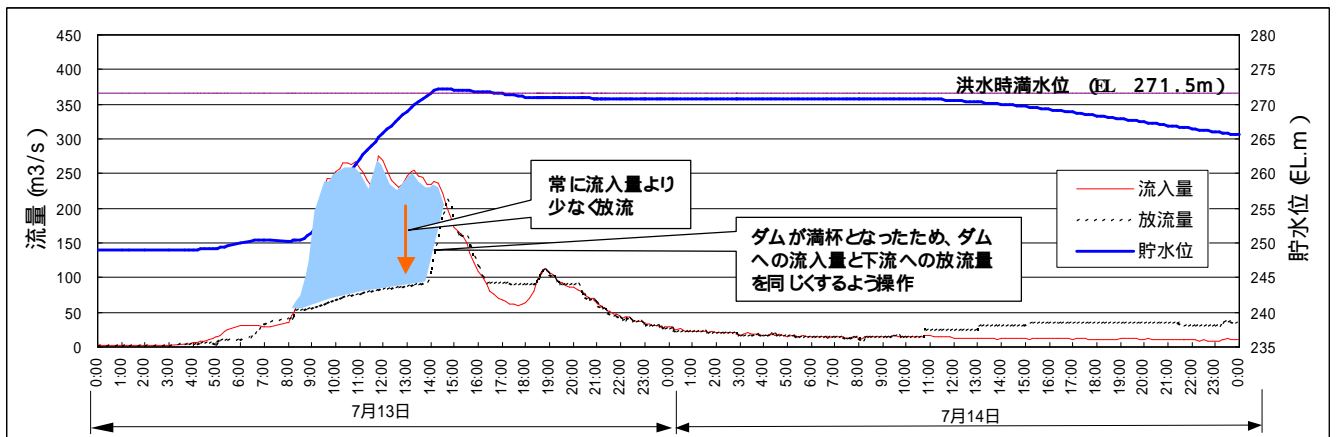
【浸水により使用不能となった家財等
（新潟県中之島町）】

【新潟県】 死者 15 名
 床上浸水 2,141 棟、床下浸水 6,118 棟
 家屋全壊 70 棟、半壊 5,354 棟、一部破損 94 棟
 公共土木施設被害：河川 1,053 件等（1月14日現在被害報告）
 土砂災害発生件数 232 件

【福島県】 死者 1 名
 床上浸水 8 棟、床下浸水 90 棟
 公共土木施設被害：河川 379 件等（1月14日現在被害報告）
 土砂災害発生件数 12 件

ダムによる洪水調節効果

信濃川水系刈谷田川においては、刈谷田川ダムで $193\text{m}^3/\text{s}$ （最大流入量 $275\text{m}^3/\text{s}$ 放流量 $82\text{m}^3/\text{s}$ ）を調節しており、約 $325\text{万}\text{m}^3$ の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与した。



刈谷田川 刈谷田川ダムの洪水調節状況

河川改修事業の効果

新潟県の河川改修は、これまでも水害の発生にあわせた集中的な予算投入を実施。毎年度の予算は大きく変動するため、機動的な予算投入は補助制度によりはじめて可能。

刈谷田川等の流域と同様に多量の降雨があった能代川では、平成12年7月水害を契機に集中的な河川改修を実施した結果、今回、当時よりも大きな降雨があったが被害はわずかであった。

